

2019年11月15日

各 位

株式会社新生銀行
新生企業投資株式会社

ライフイズテック株式会社への投資実行について

日本インパクト投資1号ファンド(以下、「子育て支援ファンド」)および日本インパクト投資2号ファンド(以下、「2号ファンド」)は、このたびライフイズテック株式会社(東京都港区、代表取締役 CEO 水野 雄介、以下「ライフイズテック」)が実施する第三者割当増資を引き受けました。

ライフイズテックは、「中学生・高校生一人ひとりの可能性を最大限伸ばす」をミッションとし、これまで4万人以上の中高生へIT・プログラミングを学ぶ機会を届けてきたEdTechカンパニーです。課題解決型のデジタル人材育成のために、企業や地方自治体と連携した、中高生・教職員向けプログラミング教育の企画・運営、オンラインプログラミング学習コンテンツの開発・運営を行っています。

当社は、自社の事業が創出する社会的インパクトと、事業の持続可能性を担保する経済的リターンを両立していくための社会的インパクトの計測に主体的に取り組んできましたが、今般の資金調達にあたり、子育て支援ファンドや2号ファンドを始めとする社会的インパクト投資家を招聘することによって、今後は社会的インパクトの評価体制を強化していくことを企図しています。

子育て支援ファンドは、新生企業投資株式会社(東京都中央区、代表取締役社長 松原 一平)が運営する国内の子育て関連事業へのインパクト投資を行うファンドです。その後継ファンドである2号ファンドは、新生企業投資の子会社である新生インパクト投資(東京都中央区、代表取締役 黄 春梅、高塚 清佳)および一般財団法人社会変革推進財団(東京都港区、代表理事 坂東 眞理子)を共同運営者として2019年6月に設立されました。2号ファンドでは、投資対象を「子育て・介護・新しい働き方関連事業」へ広げ、投資先事業者の成長支援や社会的インパクトの拡大を図っていくことを狙いとしています。

新生企業投資と新生インパクト投資は、ライフイズテックとともに社会的インパクト評価に関するロジックモデルの構築を行いながら、同社の事業拡大のサポートをしていくとともに、新生銀行グループが中期経営戦略で掲げる「価値共創による成長追求」のもと、引き続きさまざまなパートナーとインパクト投資のエコシステム構築を積極的に推進し、社会的課題の解決に向けて取り組んでいきます。

【ライフイズテック株式会社の概要】

名 称	: ライフイズテック株式会社
設 立 日	: 2010年7月6日
代 表 者	: 代表取締役 CEO 水野 雄介
本社所在地	: 東京都港区南麻布2-12-3
事業内容	: 中高生向けIT・プログラミング教育プログラムの企画・運営など
資 本 金	: 26億607万円(第三者割当増資後、資本金準備金含む)
U R L	: https://lifeistech.co.jp/

【子育て支援ファンドの概要】

名 称	: 日本インパクト投資1号投資事業有限責任組合
設 立 日	: 2017年1月5日
無限責任組合員(GP)	: 新生企業投資株式会社
期 間	: 組合期間10年
投 資 対 象	: 子育て関連事業を営むアーリーからレイトーステージ企業

【2号ファンドの概要】

名 称 : 日本インパクト投資2号投資事業有限責任組合
設 立 日 : 2019年6月28日
無限責任組合員(GP) : 日本インパクト投資2号有限責任事業組合
GP 構 成 員 : 新生インパクト投資株式会社
一般財団法人社会変革推進財団
期 間 : 投資期間5年、組合期間10年
投 資 対 象 : 子育て・介護・新しい働き方関連事業を営むアーリーからレイトーステージ企業

以 上

お問い合わせ先
新生銀行 グループIR・広報部
下村、紀、風間
Tel.03-6880-8303